

# 事業実績シート

## 1 事業の概要

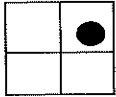

<b>協会事業名</b>	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input checked="" type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
<b>自治体(団体)事業名</b>	川棚町 特産品販売宣伝促進事業			
<b>所管局部課</b>	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	川棚町	産業振興課	狩集 健一	0956-82-5414
<b>事業期間</b>	開始年	平成25年3月 (6年目)		
<b>事業実施手法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[                    ]			
<b>実施期間</b>	(開始日)平成30年6月                    (完了日)平成30年3月10日			
<b>委託した場合の委託内容</b>	委託先機関名	担当者名	連絡先(TEL)	
	(委託内容)			
<b>助成事業の目的</b> ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		
	生産農家  町民  町外者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接消費者の意見を聴く機会としてとらえ、生産意欲の向上を図る。</li> <li>・町内産農畜産物の品質を認識してもらい、地域内での消費拡大を図る。</li> <li>・産地である本町の魅力を認識してもらい、居住地における消費拡大及び交流人口に拡大を図る。</li> </ul>		
<b>助成事業の具体的内容</b> ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	<p>川棚町には、平成24年10月に開催された全国和牛能力共進会において、内閣総理大臣賞を受賞した本町産の長崎和牛を筆頭に、小串トマトやアスパラガスなどの市場で高い評価を得ている特産品が多数存在する。</p> <p>しかしながら、これらの農畜産物の優良品は主に町外・県外で流通しており、町民の方が一部を除いて高品質の特産品に触れる機会がほとんどない。農水産業においては、高品質の生産品を高単価で取引できる消費地に供給することで、所得の確保経営の安定化を図っているが、今後少子高齢化により、産地間の競争も厳しくなると予想されるため、町内や近隣市町における需要の確保も安定経営に必要と考える。</p> <p>そこで、比較的特産品が豊富な3月に町内でほとんど流通しない優良品の試食・販売を主体としたイベントを実施し、将来的な地元消費量の拡大を図るとともに、町内外へ川棚町の魅力を発信する機会としている。</p> <p>また、川棚高校の生徒による特産品の開発への一部支援を行った。</p>			
<b>事業開始の背景、これまでの経緯及び現状</b>	<b>(事業開始の背景)</b>			
	<p>平成24年開催の全国和牛能力共進会における内閣総理大臣賞の受賞を機に、「川棚町産の農畜産物の品質の良さをもっと対外的にPRして交流人口の拡大を図るべき」との機運が高まったことから、併せて農業者等の所得の向上・安定化を図ることを目的に事業を開始した。</p>			
		<b>(経緯・現状)</b>		
<p>当初は消費地である都市部での販売促進イベントの開催等も計画していたが、生産者等と協議を行い、地域内での評価を高める取り組みと、町外者の方にも産地を見に来ていただけるような取り組みの希望があり、町内でのイベントを実施することとした。</p>				

## 事業実績シート

### 2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		1,273,544 円	1,325,625 円	1,386,721 円				
(財源内訳)	国庫支出金	0 円	0 円	0 円				
	県支出金	0 円	0 円	0 円				
	地方債	0 円	0 円	0 円				
	その他	300,000 円	0 円	0 円				
	市町振興共同事業助成金	486,772 円	600,000 円	600,000 円				
	一般財源	486,772 円	725,625 円	786,721 円				
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	来場者数	毎年 500 名以上の来場	人	目標	1,000	1,000	1,000
					実績	1,000	1,400	1,000
					目標達成率 (%)	100	140	100
	②				目標			
					実績			
目標達成率 (%)								

### 3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+)  私益 (-)      公益 (+) 選択 (-)
	(公益性) <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価 妥当性低い      妥当性高い (-)      0      (+) 	(3) 廃止又は休止した場合の影響 (影響内容、程度等) ・本来生産者等が主導して取り組まれていることが理想であるが、主要産物の繁忙期と重なり、また、JA以外の団体の参加もあるため、取りまとめ役として、行政主導で取り組むことで、関係者の協力体制が維持できている状況である。事業を廃止又は休止した場合は、主要目的である町内及び近隣地域における消費拡大が達成できなくなると考える。	

## 事業実績シート

### 4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		当日は終始雨天であったが、広報活動の充実、イベント内容の充実に取り組んだことによる。	
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由)	
	実施予定 期 日	平成 31 年	・特産品の品数の充実、町の観光部門等との連携によるグルメ部門の充実により、より多数の来場者が見込める。 ・平成31年度に川棚漁協が大村湾漁協に合併することから、水産物の取扱いにより、体験型のブース等を増やすことにより来場者の増加、特産品の周知が見込める。	
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)		
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない				
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		・行政が主催することで生産者やJA・関係機関の協力を得られやすい状況もあり、民間事業者による運営は困難と考える。	
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)	
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		・行政が主催するイベントに農業者等が賛同して実施している。このため販売する特産品は、本来市場に出荷するものをイベント用に融通してもらっており、販売に参加する生産部会員も実質的にはボランティア的要素が強いため、参加者からの負担金等の徴収は不可能と考える。		

### 5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	・現在本町の特産品の内、高品質品は都市圏の消費地に流出しているが、生産者の中には地元で一定水準の販売金額で販売できれば、できるだけ地元での消費拡大を仕向けたいとの意向もある。 ・本イベントも6回目を迎え、生産者等からも内容を充実する提案も出されており、特産品のPR効果と交流人口の拡大を目指し、イベントの定着化を進め、町内外への認知度を高めた上で、事業経費の負担方法等について検討したいと考える。 ・高校生との新メニューの開発は引き続き行い、コラボ商品の開発、商品化及び販売に向けた協力を行って参りたい。 ・来年度から佐世保市を中心とした広域都市圏事業が開始され、本町も「農水産物等特産品販路拡大事業」に参加し、特産品の需要拡大に佐世保市等と連携して取り組む方向。				